

学校における感染症対策について

令和2年5月22日現在
豊かな心と身体育成課

1 感染症対策を行う体制の整備

(1) 保健管理体制の整備

学校長を責任者とし、保健主事・養護教諭・各学級担任などとともに、学校医・学校薬剤師等との連携を推進した保健管理体制を整備する。例えば、学校保健委員会などの場を活用し、学校における感染症対策の具体を協議する。

(2) 緊急連絡体制の整備

学校で感染が疑われる者がいた場合等の対応について緊急連絡ができるよう、保護者との連絡体制を整備するとともに、教職員の役割分担を明確にしておく。

(3) 積極的な情報発信

学校における感染症対策について、PTA等と連携し、保護者や地域等の理解が得られるよう、ホームページへの掲載や資料配付等により、積極的に情報発信をする。

2 幼児児童生徒への指導

幼児児童生徒（以下「生徒等」という。）が新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し、これを避ける行動をとることができるよう、「新型コロナウイルス感染症の予防（令和2年4月文部科学省）」資料等を活用して感染症対策に関する指導を行う。

3 感染源を絶つ

- 風邪の症状（発熱，咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）がある生徒等，教職員については，自宅で休養させることを徹底する。
- 生徒等は，保護者の協力を得て，登校前に検温，体調不良の有無，同居家族等の体調不良の有無を「健康観察カード」等に記録し，学校で確認する。登校前に確認できなかった生徒等については，保健室等で検温及び体調不良等を確認する。
- 各授業の開始前に，生徒等の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど，健康観察を徹底する。

4 感染防止の3つの基本

(1) 身体的距離の確保

「新しい生活様式」では，人との間隔は，できるだけ2メートル（最低1メートル）空けることを推奨している。感染が一旦収束した地域にあっても，学校は「3つの密」となりやすい場所であることには変わりなく，可能な限り身体的距離を確保することが重要である。

施設等の制約から1メートルの距離を確保できない場合には，できるだけ距離

をとり、換気を十分に行うことや、マスクを着用することなどを併せて行うことにより「3つの密」を避けるよう努める。

○通路（廊下、階段）を一方通行とし、対面を避ける環境をつくる。

○教室や廊下に1～2m間隔で目印テープを貼付するなど、身体的距離の確保を可視化する。

(2) マスクの着用

基本的には常時マスクを着用し、咳エチケットを徹底する。ただし、気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外す。その際は、換気や生徒等の間に十分な距離を保つなどの配慮をする。マスクの色・柄は問わない。

(3) 手洗い

登下校時、給食（昼食）の前後、外から教室に入る時、清掃の後、トイレの後、咳やくしゃみ、鼻をかんだ時、共有のものを触った時、学校図書館利用前後など、様々な機会において、こまめな手洗いを徹底する。手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗う。手指用の消毒液は、流水での手洗いが出来ない際に、補助的に用いるものであるため、基本的には流水と石けんでの手洗いを指導する。

5 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

教室等の換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行う。エアコン使用時においても換気を行い、密閉空間にしない。

6 学校給食（昼食）をとる際の留意点

- 給食は感染リスクの高い活動であることから、給食の配食を行う生徒等及び教職員は、マスクを着用し衛生的な服装をしているか、手指は確実に洗浄したか等を毎日点検する。
- 会食にあたっては、机を対面ではなくスクール形式にする、会食中は会話を控えさせる、多人数での会食を避けるため空き教室等を活用するなど、感染リスクを可能な限り低減するよう工夫をする。

7 清掃時の留意点

- 多くの人が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、適宜、丁寧に水拭き清掃を行うなどして環境衛生を良好に保つ。
- トイレについては、感染リスクが比較的高いと考えられるため、丁寧に清掃を行う。便器内は、通常の清掃で良い。
- 校舎内を土足で使用する場合は、玄関口で土等をしっかり落とし、校舎内の環境衛生を良好に保つ。
- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る。
- ごみを回収した後は、必ず流水と石けんで手を洗う。

8 休み時間の留意点

会話をする際にも、一定程度距離を保つこと、お互いの体が接触するような遊びは行わないよう指導する。

9 登下校時の留意点

- 校門や玄関口等での密集が起こらないよう登下校時間帯を分散させる。
- 公共交通機関を利用する場合には、マスクを着用し会話を控えめにする。帰宅後は速やかに手を洗う。

10 健康診断実施の留意点

実施の判断や実施の方法等については、学校医、学校歯科医等と十分連携し、「3つの密」が同時に重ならないよう、日程を分けて実施するなどの工夫をする。

※ 今後、地域における感染状況の変化や、新たな情報や知見が得られた場合は、随時見直しを行う。



【学校における感染症対策の好事例①～庄原実業高等学校】

「3つの密」を避けるために、校舎内の廊下や階段にセンターラインとサインプレートを掲示しています。



広島県立庄原実業高等学校



【創立百周年記念碑（実業の道）】

校舎敷地内点描 Part⑥

撮影年月日：令和2年5月8日（金）

【文責：校務部】

生徒のみなさん、お元気ですか。

臨時休業中の学習課題に取り組んでいますか。

毎日、健康チェックをしながら学校再開の日に向けて、計画的に準備をしておいてください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策として、手洗い・うがい・手指消毒の徹底、3つの密

【①換気の悪い 密閉空間、②多数が集まる 密集場所、③間近で会話や発声をする 密接場所】

を避けること等が求められています。

今回は、校内で新型コロナウイルスの感染症拡大防止の対策として、感染リスクを避けるために工夫し始めたことについて校舎内で撮影したスナップ写真（一部、他の撮影日も含みます。）を紹介しながらレポートしていきます。

正面玄関から1号館1階の廊下、2階への階段と2階の廊下及び2号館1階の廊下に黄緑色の養生テープを貼り付け【廊下中央には、道路のセンターライン（白線）を参考にしながら2メートル間隔で、階段には、中央に表示】、廊下に各種表示の貼り付けと要所へ掲示を行いました。

これは、校舎内を移動時に人と人がすれ違う際に正面衝突を防ぐことや、人と人との距離間を意識すること等の効果が期待できます。臨時休業が終わり、学校が再開されたら一人ひとりこのことを意識しながら集団生活をして行きましょう。



新型コロナウイルス

実...



校舎内の廊下や階段等に黄緑色の養生テープを利用したの表示作成、サインプレートの貼り付け及び掲示を行っている様子です。

【学校における感染症対策の好事例②～三次中学校・高等学校】

感染症対策のポイントを、「保健だより」に分かりやすく紹介しています。

保健だより

令和二年 4月16日 臨時休業特刊号
 広島県立三次中高 保健室



今、自分のために みんなのためにできること

三次市内での新型コロナウイルス感染症の発生により、新学期が始まってすぐ臨時休業となりました。みなさん今不安な気持ちだと思います。また元気に笑顔でみんなに会えることを楽しみにして、今、自分・周りにいる人のためにできることを考えて、行動していきましょう。

“規則正しい生活”

- 睡眠** 起床・就寝時間を決めて、リズムが乱れないようにしよう！
睡眠時間は7～8時間とろう！
- 食事** 3食しっかり食べよう！
赤黄緑の食品をバランス良く！
- 運動** ストレッチなど、家の中や人と接触せずにできる運動をしよう！

☆免疫力を高めよう☆

ストレス発散

長期間家の中で不安を抱えて過ごしていると、ストレスがたまります。時間を決めてストレスを分散しよう！

- 今の状況でできる好きなこと・リフレッシュできること
- 読書
 - 絵を描く
 - ドラマ・アニメ
 - 料理
 - など...
- ※ 自分とほかの家族のようにもなない場所などがある場合は、学校や24時間子供SOSダイヤル(0120-0-78310)に！！

手洗い

手洗いは感染症対策の基本！！
 食事前・トイレの後・外出後などこまめに手を洗おう！

手洗いのポイント

- ① 石けんを使う
 - ② 正しい洗い方に
 - ③ しっかりと洗い流す
- 手についたウイルスを洗い流そう！！



咳エチケット

外出する時、近くで人と話をする時はマスクをしよう！

- マスクの効果
- ・ウイルスの入った飛沫(しぶき)から守る
 - ・のどが乾燥するのを防ぐ
- 外す時
 ひたひたの部分を持って外す
 ※ 中央の部分が顔に付かない！！

外出は最小限に

3密(密集・密接・密閉)を避けよう！！
 ☆ 外出前に考えてみよう！

- 今必要な外出？
- 手洗い・距離に人がたくさん集まる場所？
- 換気が悪い場所？

※ 体調がいつもと違うと感じる人は外出を控えよう！

言動・行動に思いやり

たくさんの情報が出回り、何を信じたらよいかわからなくなったり、不安が大きくなったりしているかもしれません。感染症はどなたにでもうつり得る可能性があります。誰か一人にうつる可能性があります。

SNSなどの何気ない一言で、新型コロナウイルスに感染した人やその家族などを傷つけることがないようにしよう！



【学校における感染症対策の好事例③～尾道特別支援学校】

聴覚障害者との会話では、口元や表情も重要な情報源となるため、手作りフェイスシールドを作成しました。

尾特♪今日のーコマ

令和2年5月18日(月)

新型コロナウイルスの集団発生防止のために言われているのは「**3**つの**密**を避けましょう」です。その中の手立ての一つとして、「マスクの着用」があります。

しかし、マスクを着用すると口元が隠れてしまいます。聴覚障害者との会話では、口元や表情も重要な情報源となるため、マスクで隠すことは好ましくありません。

そこで…



これら身近で手に入るものを使って作ったものが、こちら！

「フェイスシールド」です。

案外、簡単にできます！
インターネットの検索サイトで「フェイスシート」「手作り」等で検索してみてください！

これなら、顔を隠さないままで、
飛沫をまき散らすことを防ぐことができます！

「首相官邸の記者会見で、首相の横で手話通訳をしている人みたい！」と上々の反応でした。みんなの健康で安全な日々を守るために、できることは何でもやってみます！

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

<p>他の人と十分な距離を取る!</p>	<p>窓やドアを開けこまめに換気を!</p>
<p>屋外でも密集するような運動は避けましょう! 少人数の散歩やジョギングなどは大丈夫</p>	<p>飲食店でも感染を呼び出しつづ ・多人数での会食は避ける ・密・接・つ・集・ま・り・に・あ・る ・互い遠くに座る</p>
<p>会話をするときにはマスクを付けましょう!</p>	<p>電車やエレベーターでは会話を控えましょう!</p>

広島県立特別支援学校 尾道特別支援学校 0120-565653

(出展：首相官邸HPより)

